

繪本豐臣勲功記

二編
貳

4 5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8



繪本豊臣勲功記二編二之卷

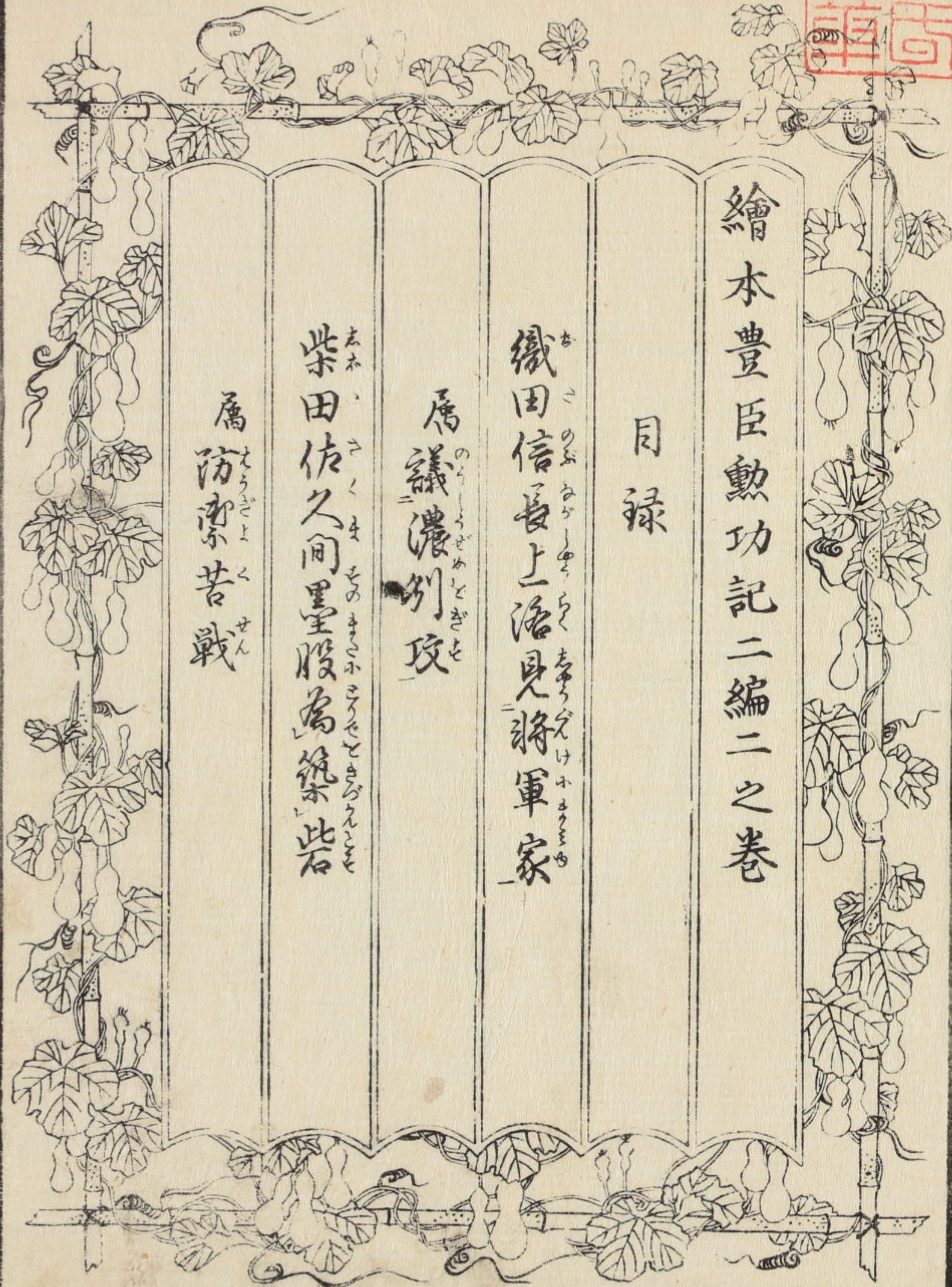
目録

織田信長上洛見將軍家

屬 議濃別攻

柴田佐久間墨股為築此石

屬 防禦苦戰

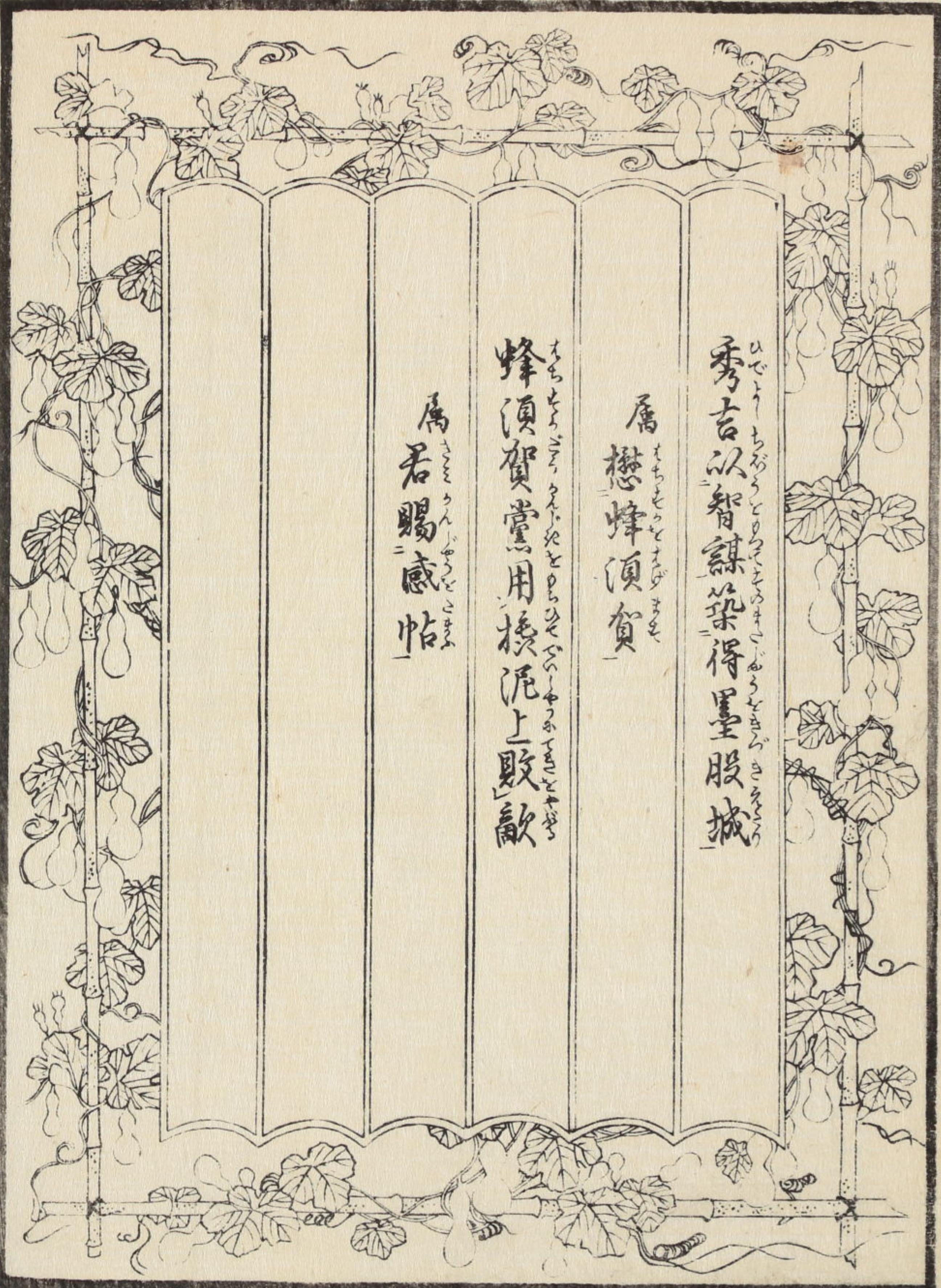


秀吉以智謀築得墨股城

属 懋蜂須賀

蜂須賀堂用換泥上敗敵

属 君賜感帖



繪本豊臣勲功記二編巻之二



江戸

櫻澤堂山

編輯

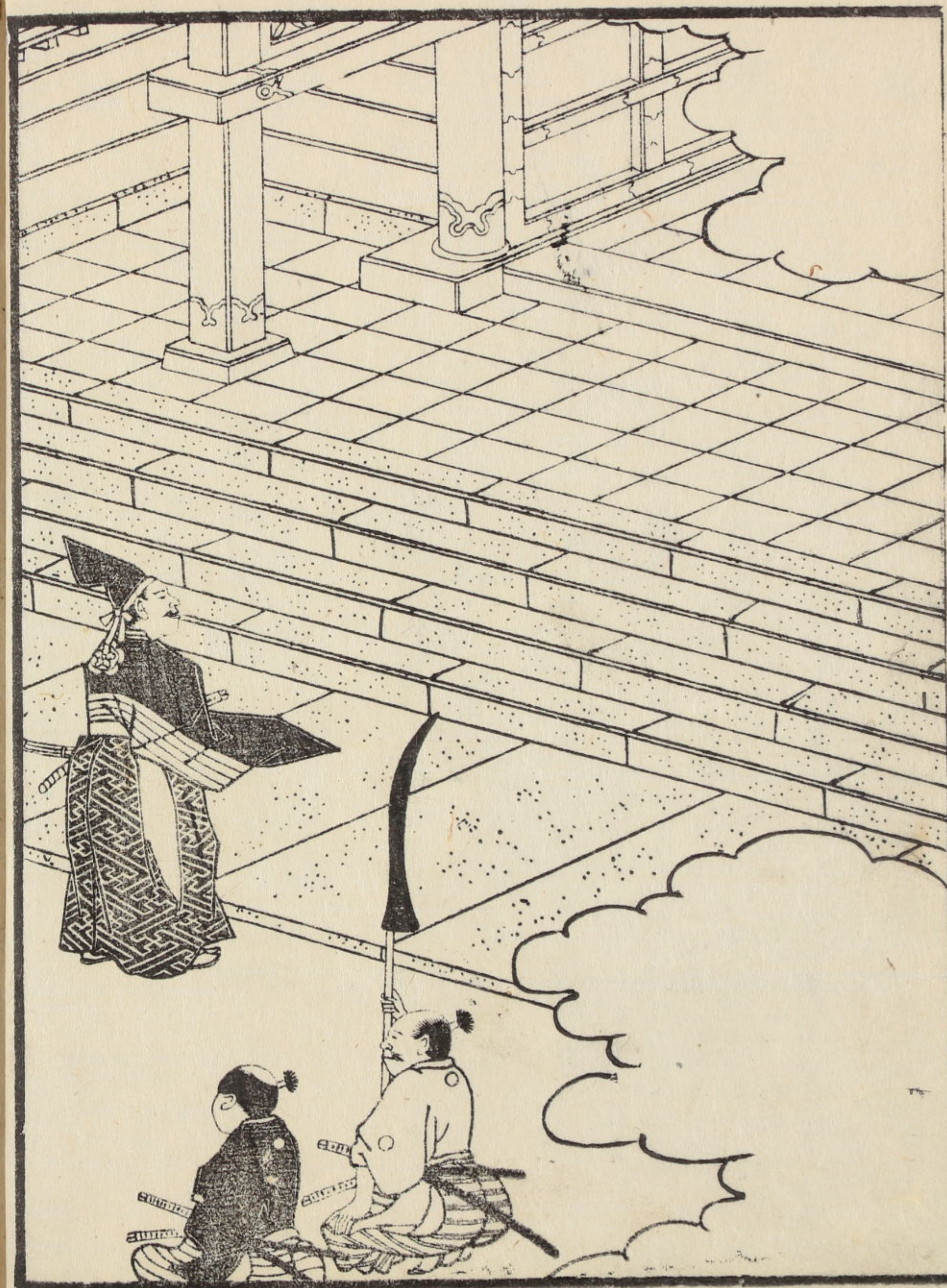
徳田信長上洛見將軍家属 儀濃別攻

山の高きふあらしきも。仙あまの相阿を。水は流れ小まらざるも。龍
もまはる雲のふも。實清湖城を當とも能ありじ。衆あらしむる威を隣
國小東のや遠道従者の企望の。達至せまくおがく起上洛の榮道
一とあり。八十余人の勇士の軍具。脱小東名小東。六瀬川一巻
出迎へ城中小詰。入恭々。登應。衆あらしむる小織田。敵地小進を
ま。一巻の賞。一とあり。奮久。以来の之功。をま。小骨ひ。小骨伊勢の
國。北富。と。歴。も。預備。を。嚴密。小。謀。合。さ。も。黄金。港。の。ち。刀。一。口。と。手。自。ら
一。巻。小。東。へ。む。ひ。急。ぐ。せ。経。た。途。ち。ま。は。使。衆。名。城。を。障。と。多。し。最。情。や。う。ある。霧



信長
 情地不
 上洛
 足利家へ
 謁せんと欲し

豊臣記二編卷之三



豊臣記二編卷之三

相死走小居不日小名を率ひ。渠が居城を一時小破り。彦の府を謀り
 畢ぬ然も終毒の者ありて。一家は長子義統を起す。小隨ふて
 却て小居を誅せんと軍を催すと。いとも事成りて。清洲城を奔走せ
 玉ふより。止事を得て國中の糧籍を推静め。假不法を執行ひ。民
 と安んじ。ある所小強府の城を義元朝臣。四万六千の大軍にて上洛の業
 駕をし。軍首小尾列の地を抜んとせり。由へ休陣を得て。小居を僅五千の
 小勢を將て。國境へ馳向へ戦のうら小義元朝臣を捕縛して。伏せぬを
 是が為小つとみ。國中殊小福ふりて。鄰國を以て靜謐なま。上洛つ
 まつ。軍後と次第精しく述らるる小ぞ。將軍の家をたもて。漸感の漸
 氣色あり。いま右の發意も。右侍小祇備せり。長慶も信長の
 言語程ふりて。事理明白あるのまあらむ。威風凜々として。拔群の武士

と察せし。渠が意小違らるる。官一。好と通。又とるふ
 して自己を腹心小みさりと。顔色を輕ぐ。噫感小堪ら。總列。信長を
 駭ゆ。ま。嫌う。小能も。一國を。破。積。海。東。弟。一。國。へ。今。川。義。元。の
 大軍を。唯一。戦。小。強。助。を。逐。小。義。元。を。伏。得。る。よ。し。此。を。ま。を。使。所。へ。り。
 希代の。権。家。と。謂。ふ。一。目。形。波。家。の。沈。淪。へ。織。田。孝。九。郎。の。運。軍。小。なり。更
 ども。下。さ。る。君。は。か。小。一。家。の。親。を。截。奔。て。運。使。を。伏。て。仇。を。報。國。家。を。平
 治。せ。し。る。業。最。難。ら。う。なる。大功。を。一。尾。張。已。小。を。獲。職。を。一。戰。國。を。一
 上。へ。こ。ま。を。他。不。討。り。小。聲。を。た。信。長。を。り。て。尾。張。の。守。護。職。小。補。給。せ。し。む。は
 る。處。と。執。達。せ。し。る。將軍。家。小。も。秘。し。り。を。思。は。ま。し。思。は。れ。し。清。亮。を
 小。つ。く。信。長。軍。加。小。あり。謝。を。得。九。遍。し。將軍。の。清。亮。と。違。出。を。列。小。將
 軍。の。清。亮。者。あり。て。密。小。信。長。を。慕。せ。し。も。命。を。ら。ま。り。や。う。の。信。長。弱。者。中。と

京師の往來
駭がくねと察く
信長歸路を
八風越の
嶮岨ふ取る



直小澤崎小越さけるが別守山まて下向あり。翌日(間谷)を穿たむ
一八風嶺を越越山路傳之(注)例まで。難前十七里の行程を只一日
小澤者ありり。織田版上洛の慮を伺ひ、女系家(注)の老臣(注)依種(注)密
計せぬららしき事。途中事あく城(注)まゝ、多(注)る運(注)の量(注)を(注)涯(注)みし。
増(注)と上洛(注)せしき。後(注)武光(注)派(注)盛(注)小(注)て、草樹(注)も隨(注)く世(注)相(注)み(注)て遠
威(注)小(注)宗(注)して、兵(注)濃(注)小(注)攻(注)捉(注)敵(注)兼(注)の背(注)懐(注)せ、敢(注)せんと思(注)愈(注)し玉(注)ども以
前(注)小(注)徳(注)く、疎(注)忽(注)小(注)軍(注)馬(注)を(注)驚(注)し、がく。考(注)先(注)玉(注)ふ光(注)陰(注)の(注)策(注)去(注)こと
雲(注)より速(注)く、永(注)祿(注)五(注)条(注)の(注)春(注)小(注)ぞ(注)んぬ。一(注)夜(注)亦(注)下(注)藤(注)吉(注)部(注)松(注)経(注)経
藤(注)と(注)動(注)時(注)小(注)信(注)長(注)方(注)右(注)と(注)所(注)りて、兵(注)濃(注)攻(注)の(注)詞(注)と(注)云(注)出(注)玉(注)ふ時(注)小(注)秀(注)吉
勝(注)りて、河(注)庄(注)近(注)く進(注)寄(注)吉(注)徳(注)ことして、冷(注)言(注)を(注)ら(注)く。熟(注)く濃(注)列(注)の(注)地(注)理
せりて、軍(注)の(注)利(注)純(注)と(注)隘(注)る(注)小(注)道(注)の(注)僅(注)小(注)日(注)路(注)あり、と(注)中(注)間(注)小(注)又(注)は(注)あり。

所謂(注)騰(注)川(注)墨(注)股(注)川(注)を(注)此(注)河(注)を(注)越(注)る(注)隙(注)少(注)時(注)刻(注)を(注)ま(注)す。武(注)藤(注)の(注)兵(注)士(注)出(注)陣
ぬし。所要(注)の(注)地(注)小(注)備(注)せ(注)ず、戦(注)ふ(注)久(注)小(注)歳(注)方(注)り。自(注)方(注)不(注)覚(注)の(注)賊(注)と(注)取(注)り、
友(注)せりて、密(注)る(注)時(注)墨(注)股(注)川(注)の(注)地(注)小(注)利(注)り。川(注)と(注)背(注)後(注)小(注)足(注)湯(注)の(注)岩(注)と(注)取(注)り、
小(注)築(注)立(注)良(注)大(注)將(注)と(注)説(注)す。常(注)小(注)敵(注)玉(注)の(注)虚(注)實(注)と(注)窺(注)ひ、利(注)有(注)る(注)と(注)以(注)進(注)を
攻(注)利(注)あり、と(注)知(注)る(注)ら(注)る(注)退(注)て(注)岩(注)と(注)守(注)ん、墨(注)股(注)川(注)より、福(注)山(注)まで、以(注)湯(注)に
里(注)小(注)足(注)湯(注)と(注)ま(注)い、濃(注)列(注)と(注)取(注)ら(注)ざる(注)事(注)の、切(注)り、墨(注)股(注)の(注)筑(注)木(注)城(注)小(注)あり。よく
河(注)庄(注)近(注)り、ま(注)す。と(注)言(注)上(注)る(注)小(注)上(注)總(注)及(注)り、と(注)言(注)せ、小(注)孫(注)と(注)殺(注)り、れ(注)墨(注)股
上の(注)神(注)策(注)あり。昨日(注)評(注)波(注)の(注)席(注)小(注)及(注)る(注)海(注)も、諸(注)將(注)と(注)懸(注)を(注)と(注)し、と(注)以(注)未(注)せ(注)ら
ま(注)す、河(注)庄(注)に(注)お(注)ひ、翌(注)日(注)厚(注)澤(注)一(注)奇(注)小(注)諸(注)士(注)と(注)廣(注)間(注)小(注)會(注)合(注)せ(注)ら(注)る(注)墨(注)股(注)川(注)小
筑(注)木(注)城(注)せ(注)と(注)命(注)出(注)さ(注)す、と(注)言(注)ふ(注)時(注)亦(注)下(注)秀(注)吉(注)進(注)出(注)命(注)出(注)し、若(注)の(注)神(注)策(注)を(注)圖(注)り
當(注)く、能(注)く、實(注)濃(注)力(注)と(注)取(注)ら(注)ん、と(注)墨(注)股(注)を(注)小(注)足(注)湯(注)の(注)岩(注)と(注)取(注)り、稱(注)ふ(注)ま(注)す。目

谷之部地小田原軍危急小幡は湯原勇士の本意とする前今軍勢依て
 降しとす。款大軍せりて攻るとも。二日や五日と軍城と候。しらす事ハ
 あるまじ。備敵固せ。改執ら。兵濃攻第一の功といふ。盡し。東西小必始
 終あり。別股城の結構ハ。孫政の軍首を。遠義最たる。一と
 強く。勅命。おらせ。織田。大。小。欽。脱。せ。し。事。然。る。に。然。る。に。謀。士。真
 目。と。平。意。趣。と。符。合。あ。り。つ。る。緯。こ。を。宣。ひ。あ。り。誰。の。遠。事。を。奉。行。し。て。信
 構。成。就。を。さ。し。む。べ。と。宣。ひ。果。し。老。臣。達。は。列。座。せ。し。と。親。許。し。む。ふ。小
 幡。小。幡。一。たる。佐。久。間。信。盛。勝。家。小。幡。と。會。釋。し。孫。行。の。首。を。頭。を
 君。方。僅。か。が。一。起。き。む。ふ。別。股。城。の。此。の。此。の。結構。小。幡。を。奉。行。し。破。不
 小。幡。も。僅。か。んと。宣。ひ。小。幡。田。原。大。將。と。い。ひ。派。小。幡。の。信。盛。と。す。官
 こ。と。と。掌。に。此。上。も。か。れ。は。心。勤。ま。り。元。辰。を。人。吏。い。う。や。ど。又。日。量。と。若。手。小

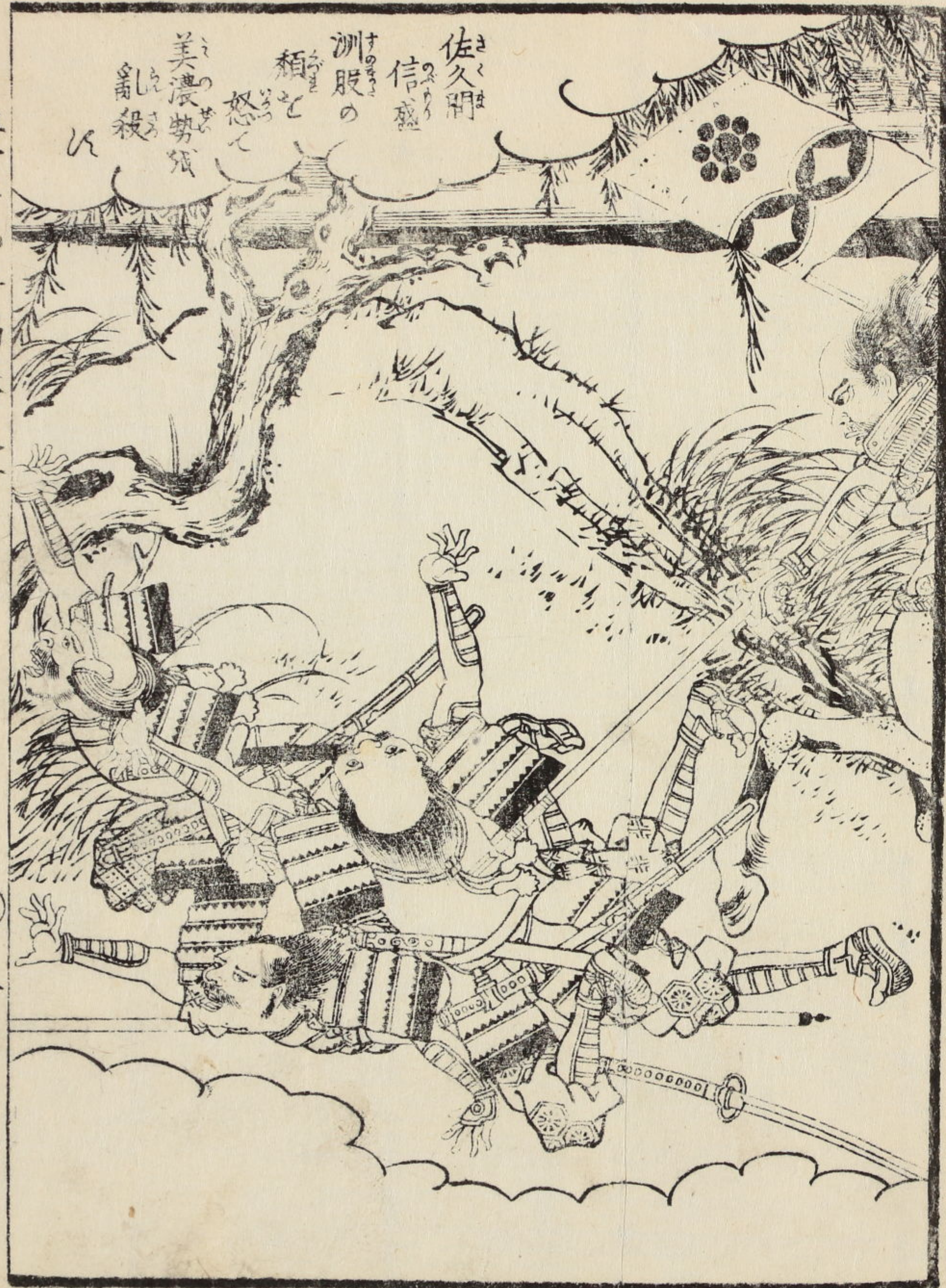
て。成。就。を。せ。し。事。も。む。ふ。と。然。し。修。理。の。人。枝。ハ。五。千。も。用。ら。ん。又。濫。防。と。防。づ。れ
 成。守。は。駿。卒。と。二。千。も。別。小。幡。信。は。ら。ん。日。小。成。就。を。ん。と。有。し。是。を
 是。て。厭。も。あ。る。べ。し。東。小。西。丹。精。せ。ら。し。ま。し。や。命。を。奉。り。佐。久。間。信。盛。八。千
 の。人。數。を。總。集。か。し。ま。づ。清。洲。原。の。山。小。幡。本。あ。ま。と。仗。護。し。そ。は
 信。流。ま。を。別。股。小。幡。と。二。千。余。騎。の。敵。を。拒。抗。ぐ。た。免。小。幡。伍。と
 之。を。せ。五。千。の。人。枝。ハ。小。幡。と。作。し。無。款。と。か。く。を。出。精。を。し。此。の。結構
 と。名。が。せ。あ。り。し

此田佐久間軍股為築此居防禦苦戰

智者の天を翻し。勇者の地を隠す。今佐久間右衛門尉信盛。尋常の
 方便。せり。此の結構。小幡。と。二。千。余。騎。の。侍。士。依。遠。相。討。を。獲
 る。より。も。又。手。あ。る。信。長。大。將。を。隔。出。戦。備。ひ。ぐ。れ。ゆ。ん。足。ど。あ。り。の。ため。小。幡

さん。此と違つてこそ。竊懐る事。那由小比と築せし。自軍は。久小部。
 あり。心そ。此。織田勢。と。退散せし。牧村半之助。長井隼人。同。能。弾。守。一。
 萬。余。銃。の。勢。也。り。て。夜。小。終。も。ぞ。推。進。す。佐。久。間。の。亦。日。ぐ。その。裡。小。
 成。能。せん。の。諸。將。あり。ま。日。夜。と。謂。も。人。柱。と。勵。ま。し。今。宵。ハ。既。小。二。日。
 目。あり。六。千。の。人。吏。息。も。吹。ぐ。く。上。せ。し。と。拮。据。不。ど。小。登。く。も。大。小。疲。を。
 たり。然。ども。佐。久。間。が。拮。据。ま。び。び。く。宵。小。途。を。く。出。精。く。夜。も。怠。ら。
 ず。碎。り。ま。り。し。る。も。不。へ。氣。を。保。つ。る。の。一。萬。余。人。之。隊。小。願。て。正。面。より。の。長。
 井。能。彈。者。四。千。余。銃。固。志。を。つ。ら。と。推。進。す。各。院。う。ち。拮。据。せ。免。免。の。佐。
 久。間。を。そ。と。視。る。も。傾。く。朝。し。る。事。も。是。れ。も。一。も。發。が。せ。二。千。余。
 騎。之。如。鱗。小。を。あ。つ。て。出。迎。へ。的。痛。く。防。死。戦。ひ。一。萬。長。井。之。も。ま。ち。付。取。ら。
 せ。散。々。小。森。を。去。る。佐。久。間。信。盛。志。を。恨。む。遂。に。一。逃。せ。し。よ。り。の。味。ら。う。

勝。小。系。て。退。往。と。ら。せ。た。右。の。伏。兵。假。殺。も。响。を。合。り。ま。し。と。い。ふ。身。小。長。
 井。隼。人。之。不。余。銃。將。村。半。之。助。今。と。く。之。千。能。敵。之。當。的。小。島。院。と。批。り。
 け。う。ち。萬。勇。起。り。ま。す。昔。積。纏。役。の。人。吏。業。肝。魂。も。身。小。院。を。ぞ。途。を。也。
 あり。と。狼。狽。な。き。川。と。渡。り。て。迹。を。や。と。舟。と。求。免。様。と。尋。ね。居。る。と。小。
 混。雜。と。ま。り。溺。死。する。輩。も。夥。し。く。積。上。具。も。皆。赤。糸。漸。く。精。げ。一。村。も。
 散。れ。て。一。と。燒。き。て。了。る。形。も。奇。甚。は。あり。と。も。知。ら。ね。ば。信。盛。心。面。の。敵。と。防。
 ぎ。氣。を。不。ふ。る。其。不。小。背。面。の。方。より。不。意。と。伏。兵。を。見。返。さん。と。振。り。お。け。ば。
 飛。弾。者。が。四。千。余。銃。取。て。返。し。て。攻。め。る。此。敵。を。退。拮。す。ん。と。ま。す。六。千。右。より。
 隼。人。半。之。助。隙。隙。も。なく。拮。据。拮。据。を。する。能。小。敵。を。一。万。自。軍。の。二。千。然。
 も。安。内。部。に。お。く。織。田。勢。遠。隔。小。至。責。是。那。角。小。遂。も。是。佐。久。間。が。能。敵。心。の。
 へ。や。ま。し。と。暗。夜。の。事。由。一。方。角。知。ま。し。と。越。々。小。打。負。く。の。願。隙。近。く。引。退。く。



此の御方の御小出も、何處までもと退蕨し、佐久間背面とて、既
 こも退と思ひ決切て、人技を救えん、はと、頼惟とて、小出止り、命を渡
 して小拒戦ふ、遠响長井、花弾の思ふ、深き、勇た、まじ、自軍小中知
 と傳へ、いふ、軍の十分勝利と得たり、連行敵とて、休小退、ま、川
 より、那地小加勢、やあり、目、猶、家の、緯、あ、ま、退、糸、小、て、率、返、せ、と、い
 士と、收め、率、取、り、も、佐、久、間、の、率、も、死、と、出、て、自、方、も、小、残、り、つ、ま、ご、も
 人、ま、と、多、く、換、せ、り、の、ま、り、石、村、本、と、悉、く、焼、失、を、れ、て、今、い、ふ、や、弟、清、小、加
 くる、緯、も、稱、と、ぞ、一、指、清、洲、へ、む、き、退、れ、と、い、て、弟、清、の、准、備、と、と、い、と
 河、と、渡、り、て、往、と、と、河、より、那、地、小、清、洲、より、頼、二、千、の、兵、士、と、り、て
 加、勢、の、た、え、小、居、陣、ま、り、佐、久、間、の、敗、軍、を、援、助、ん、と、軍、勢、を、以、て、採
 登、せ、り、と、い、ふ、余、り、小、人、主、依、刺、に、も、退、れ、る、侍、の、志、を、ら、成、る、小、出、は、ら、ま、り、と

法を得た、右小佐久間が、戦敗を、敵の、素、忽、く、退、く、小、詮、と、り、と、退、退
 一、ぬ、信、盛、の、心、と、く、面、目、を、げ、小、清、洲、へ、返、り、て、織、田、殿、小、敗、軍、の、始、末、と、言
 状、と、り、ま、り、信、長、更、小、好、む、を、身、に、佐、久、間、を、辱、や、く、勞、以、遠、遭、洲、後
 の、敗、軍、の、ま、り、信、盛、が、過、り、と、ぞ、又、と、救、え、ん、と、遣、り、と、い、つ、二、千、の、兵、士、の、他
 部、と、て、大、事、の、用、小、合、さ、る、緯、と、い、ふ、も、又、期、あ、り、饒、他、遠、か、り、の、要、難、敵
 就、の、期、あ、る、べ、う、ら、と、い、ふ、行、き、さ、ん、と、亦、若、び、評、汲、小、及、び、と、い、ひ、ら、ま、り、と、い、ふ、信、盛、は、
 ら、做、務、と、り、ま、り、誰、う、の、あ、ま、小、文、代、輩、ま、り、衆、士、も、黙、り、て、を、り、へ、り、柴、田
 権、六、権、う、ね、遠、遭、小、居、勤、の、ま、り、沖、安、途、あ、ま、や、と、呼、ぶ、と、い、ふ、信、長、又、小
 頼、比、と、ま、ひ、ひ、う、と、結、核、を、り、い、ふ、と、敵、を、防、ぶ、と、い、ふ、意、を、関、ん、と、宣、ひ、
 唇、を、列、小、ま、も、ゆ、を、ず、雷、一、命、を、極、と、り、鬼、も、あ、る、と、も、一、城、を、成、就、と、い、ふ、
 あ、る、ま、り、と、い、ふ、と、声、を、殺、し、重、を、と、り、信、長、こ、も、と、評、を、を、ま、り、と、い、ふ、小、出、柴、田、小、

ち向ひ。いふも柴田殿の謀。いさかしく推。然まとも日久多く過。さうあふ。
 士卒固守。防戦の勢弱。さう。如く。米地の山中。小あわ。既。木と。伐組
 せ。然。破地。小運送。と。さ。日。小。成。能。あ。ま。一。所。の。思。ひ。ま。や。と。認。察。も。
 ま。柴。田。實。も。と。思。ひ。ま。ぐ。ら。孫。吉。舟。が。助。ま。小。馬。結。構。成。能。あ。ま。せ。る。者。
 者。い。ま。我。ど。り。も。侮。らん。律。の。口。憾。や。と。偏。執。の。心。よ。う。者。吉。舟。が。詞。を。用。ひ。て。
 我。意。小。馬。之。計。を。と。選。出。ま。ぐ。木。と。伐。せ。る。に。便。近。山。の。畠。林。を。既。小。伐。
 久。間。う。伐。せ。せ。る。思。未。と。探。ま。ぐ。伐。出。ま。ぐ。四。五。百。本。と。伐。せ。り。例。股。の。お。り。
 より。二。千。の。防。士。と。魁。形。を。河。を。沿。て。隊。伍。と。ま。ま。諸。の。者。而。と。路。を。あ。せ。せ。り。
 遠。响。大。相。 例。股。より。西。二。里。四。町。あり。竹。腰。橋。津。の。重。吉。の。居。敷。也。 城。中。の。北。軍。族。こ。ま。と。視。え。多。く。稻。を。ふ。山。へ。注。伸。せ。
 小。稱。談。せ。と。一。度。あ。り。と。二。度。ま。も。勞。し。と。功。あり。事。を。做。い。近。來。愚。昧。の。事。あり。

十分。此。の。成。能。と。後。時。責。小。棄。取。り。と。密。然。て。侯。居。り。備。も。柴。田。諸。
 家。の。二。十。余。族。と。こ。際。小。領。ち。千。人。と。ま。ま。二。出。小。分。と。五。百。人。づ。を。流。せ。備。く。
 初。と。急。と。交。付。て。敵。備。進。ま。ぐ。こ。ま。と。拒。抗。せ。非。番。の。さ。し。の。善。請。と。
 幫助。を。せ。些。刻。も。隙。なく。出。精。せ。し。む。然。る。小。孫。の。細。心。遠。流。遠。流。と。言。
 と。沈。視。速。小。松。へ。ま。ぐ。小。孫。の。清。勇。と。号。し。所。を。向。ま。り。才。起。んと。し。
 時。小。孫。備。を。け。り。と。日。根。野。備。中。も。押。止。め。斯。の。味。愈。ある。軍。備。や。敵。後。を。
 の。取。ま。小。孫。と。又。今。來。て。此。と。後。と。い。う。ある。事。計。あり。とも。か。ま。し。と。せ。と。ま。ま。
 り。を。推。進。さ。し。こ。ま。と。取。軍。の。根。を。べ。し。總。合。計。畧。多。く。小。も。せ。と。落。び。ま。て。善。請。
 と。成。さ。し。定。て。豪。傑。の。士。あり。ん。某。が。隊。伍。と。伐。ん。出。方。術。と。ま。ま。を。備。重。し。
 某。ひ。と。の。謀。あり。自。軍。の。一。万。と。こ。際。は。額。二。隊。の。河。の。上。下。あ。る。土。堤。の。際。より
 推。遠。し。敵。舟。船。橋。と。破。流。を。せ。と。一。徹。の。背。領。より。臨。み。懸。る。人。技。門。

騒々強ひて周章を去し。備正面より朝ふ自軍の遠隊伍とて而小領ち敵
 づの圓下の陣を攻めし。左右の亭を以て柵を以て守りては、
 小とて分配せしめり。長井飛騨守同隼人牧村牛之助と一人小を
 六千余騎とて二門小領り。日根野備中も全跡決死とて、四千餘騎とて二門
 小配割備中とて、吾んて時刻を待たらぬ。九月廿九日、終夜の稍、
 易く宣うる瀧声の所、由りて、こゝろより、こゝろへ、とて、
 藤勢同走せしりて、推進せしむ。柴田が隊伍、油断を以て、
 がだ静居居の敵と進ぐと、匂引寄せ、合圍の一炮放つや、吾、こゝ隊を撰
 へし、右腕と一糸小旗を放ち、夕火、雨、雷、鼓、を以て、
 大軍の兵、流勢も、偶々起り、見へたり。備正、恐るるを、
 て、次前さんと、暮地小旗、鼓、を以て、振る。振、遣、を以て、
 敵、を以て、右、逃、を以て、連、を以て、し。獲、を以て、
 尾張武者が、助、を以て、骨、を以て、量、を以て、思、を以て、
 ん、を以て、小、を以て、と、揮、を以て、く、を以て、小、
 を以て、起、を以て、ら、を以て、ま、を以て、て、を以て、
 を以て、海、を以て、梢、を以て、より、を以て、土、を以て、
 西面の方、を以て、小、を以て、所、を以て、由、を以て、り、
 小勢、を以て、於、を以て、一、を以て、船、を以て、代、を以て、
 東、を以て、西、を以て、より、を以て、無、を以て、聲、を以て、
 さんと、河、を以て、頸、を以て、小、を以て、り、を以て、
 を以て、し、を以て、あ、を以て、い、を以て、茶、を以て、
 を以て、ら、を以て、の、を以て、敵、を以て、小、を以て、向、
 を以て、ら、を以て、の、を以て、敵、を以て、小、を以て、向、

敵、を以て、右、を以て、逃、を以て、を以て、連、を以て、
 尾張武者が、助、を以て、骨、を以て、量、を以て、思、を以て、
 ん、を以て、小、を以て、と、揮、を以て、く、を以て、小、
 を以て、起、を以て、ら、を以て、ま、を以て、て、を以て、
 を以て、海、を以て、梢、を以て、より、を以て、土、を以て、
 西面の方、を以て、小、を以て、所、を以て、由、を以て、り、
 小勢、を以て、於、を以て、一、を以て、船、を以て、代、を以て、
 東、を以て、西、を以て、より、を以て、無、を以て、聲、を以て、
 さんと、河、を以て、頸、を以て、小、を以て、り、を以て、
 を以て、し、を以て、あ、を以て、い、を以て、茶、を以て、
 を以て、ら、を以て、の、を以て、敵、を以て、小、を以て、向、
 を以て、ら、を以て、の、を以て、敵、を以て、小、を以て、向、



再々
洲
破ら
柴田勝家
憤激
列戦



豊臣
一
徳川

圍刺さしめんと戦せり。勝家が城に千余騎既小破さしうゝある。日増し
 見せが四千余騎の影隊小して脱氣活く不得の勝家防壁とさし眩不
 見へる。右に敗軍したる坂井田村之隊の疲弊とつ小保せ。魯呼を率
 返し。前後左右より操起らる。鬼と騎まし。猪家も方儀の戦没と覚悟
 みし命を脱く。破逆る。遠き津小美濃武者を駭く。敗れし。一
 百有余は大軍あり。屠戮く。攻起らる。権六猪家既先く。一
 番へ坂井右近池田勝之部。千餘騎を河を涉り。人技們を死退せ。
 赤藤勢小弱く。新隊の上小西將とも。一騎當千の雄士あり。捷驍々
 る。兵濃勢も。遠陣活を支ぐ。兵起り。敗北を。坂井池田も虎口を踏
 得。赤田を助けて。死に揚。勝家勝怒收らる。坂井池田も。侍ひ乃帝が
 勢固守。さとも。兵濃勢の筋骨断り。小足らる。若狭の人技を。侍玉へ

再結構あり。と。軍色脱く。と。ある。坂井池田種々小言を。絶く。諫慰め
 強て。死に退陣し。あり

秀吉が智謀得。墨役城。屬。懋輝。漢。質。

趙氏が連城小換へ。壁も。木下が。智。慧。小。致。る。六。城。上。ふ。や。あ。り。や
 さらん。然。る。遠。道。控。六。猪。家。別。役。の。城。を。築。ん。と。自。己。が。身。俸。を。終。小。さ。と
 小。ご。も。別。役。の。一。城。成。る。律。能。も。終。清。洲。へ。退。死。し。と。も。信。長。は。是。と
 外。計。を。な。し。て。頼。り。柴。田。が。破。れ。も。せ。ば。戦。死。せん。律。の。身。俸。く。坂。井。池。田。が。加。勢
 あり。め。柴。田。を。救。う。と。一。つ。大。意。最。智。く。死。濟。料。理。あり。死。の。思。起。こ。し。計
 策。此。小。算。く。あり。あ。ん。事。を。朽。憾。お。し。召。又。く。評。議。あり。り。き。と。も。柴。田。依。久
 間。の。敗。き。小。懲。て。誰。か。我。が。と。進。も。せ。ば。首。を。斬。り。む。り。ある。如。小。木。下。者。吉。高
 進。出。沖。老。中。の。兩。將。達。が。濟。平。小。及。び。難。を。事。を。小。臣。濟。奉。つ。り。ま。つ。り。て。然

申さざと存せざるも。近來鳥平の至りまづら。御思儀一のすまこもある
 由（希ふ小信）奉承ゆと命着らま下さるべし。と推て望まふ事小信長
 さまに報しむひ子丈いっやと訊ねまふと。藤吉郎言状まら。敵地小城を
 築く事自軍の人技を用ひのふさば。操多くと利あり。然バ自軍は人技を
 二人も用ひまじ。敵の者小敵を拒抗を敵地の人技を驅逐を。此を信構仕
 らんと。易儀やう小餅りま六信長信く勝きたあひ斯いま。い成奇計小を
 累て同せまふと。秀吉然いそま。春照藤川柏原佐久良市原日野
 守原こと守山の遠を小信長居り。豪士輩あり。渠們を多く操集
 修理場の四方を防ぎせり。さん史が申小も。操集の勇士を彼小兼多。蜂谷
 小六同又十郎。福田大助。青山彰七。同小助。河口久助。長江半之丞。加治
 田隼人。日比野六。又松原内通。依と頼と。て。千五百者余人。を隊仕

の領領し。つと。惣勢凡九六千余騎。りつとも。並請の日量。七日の向小成。能せ
 一。さん竹本。尾石。小。ぶ。ま。米地。の。物。の。費用。は。僅。ま。と。京。よ。ら。に。老。臣。諸
 士。斬。つ。を。を。怪。し。む。と。織。田。殿。も。ま。ま。さ。は。頼。也。米。の。老。臣。を。ひ。な。が。ら。も。是
 まで。不。思。儀。の。大。功。を。幾。遭。と。な。く。違。せ。事。史。前。望。の。信。小。解。こ。せ。こ
 ま。小。信。も。亦。下。藤。吉。郎。の。頼。く。違。遣。企。図。も。軍。役。操。集。の。中。小。於
 を。柴。田。佐。久。間。が。勇。奮。を。と。も。向。成。就。か。ら。う。ら。ん。と。徳。く。も。あ。ま。こ。信
 量。一。け。ま。信。次。を。當。を。信。長。は。官。せ。さ。せん。増。上。も。な。さん。と。既。し。ん。違。く
 渠。小。約。飛。騏。と。信。濃。の。山。中。へ。遣。ま。る。小。信。長。は。信。長。行。原。の。信。田。殿。の。御
 巨。木。操。集。小。さ。る。程。小。信。長。の。御。命。を。得。ま。る。然。れ。に。彼。河。川。大。舟。門。人。舟。門。の。御
 多。月。小。信。流。く。馬。河。河。系。小。種。揚。り。る。河。川。の。御。命。を。得。ま。る。然。れ。に。彼。河。川。大。舟。門。人。舟。門。の。御
 五。百。の。名。士。と。千。餘。人。史。を。從。へ。馬。飼。の。河。系。小。來。り。信。次。領。當。の。法。士。と。方。ら。ひ

豊臣言二續卷之二

十一

工夫神通の
智を結らひ
秀吉
洲暇小
城を築梁の
造材を
做し心

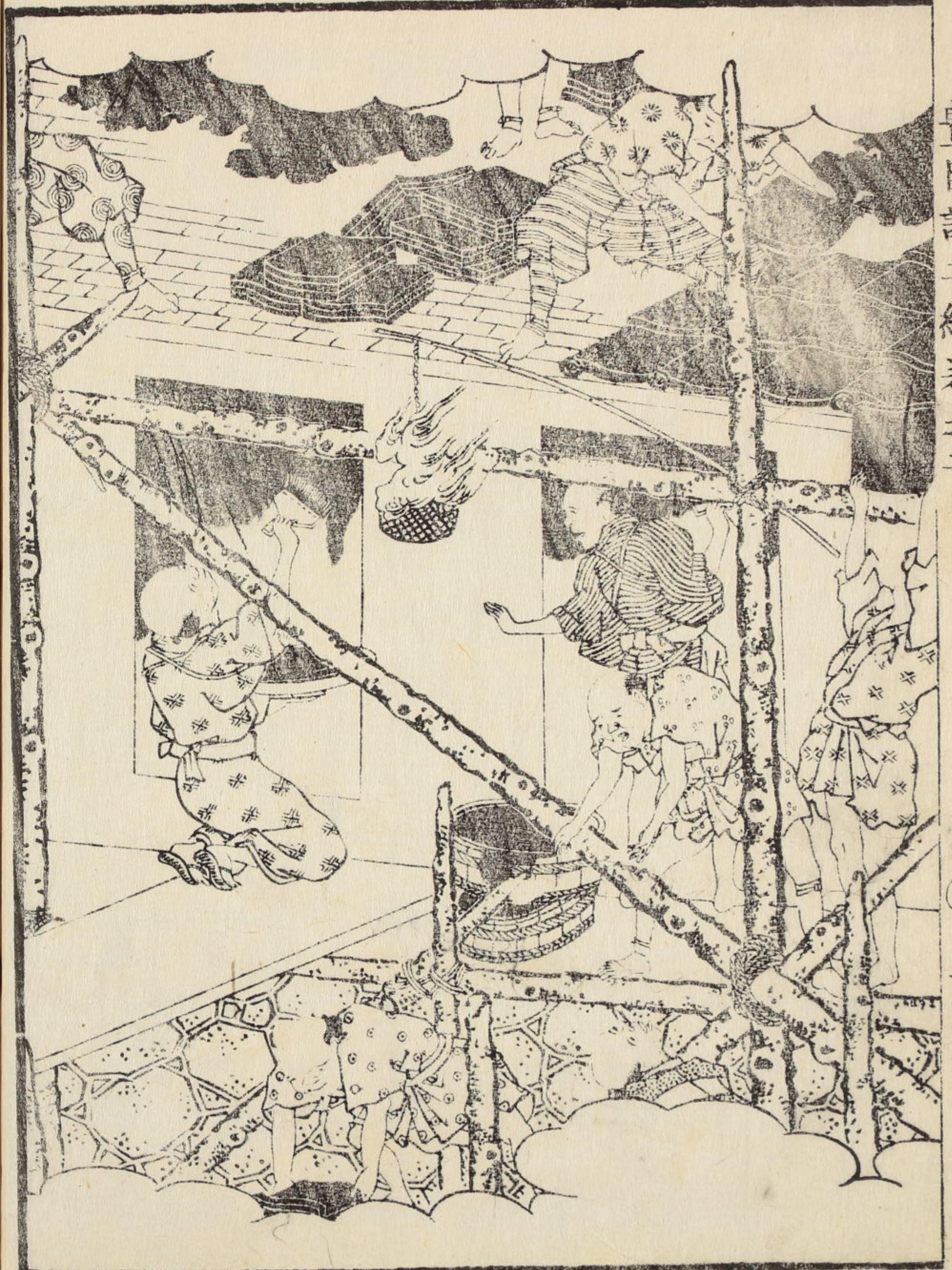
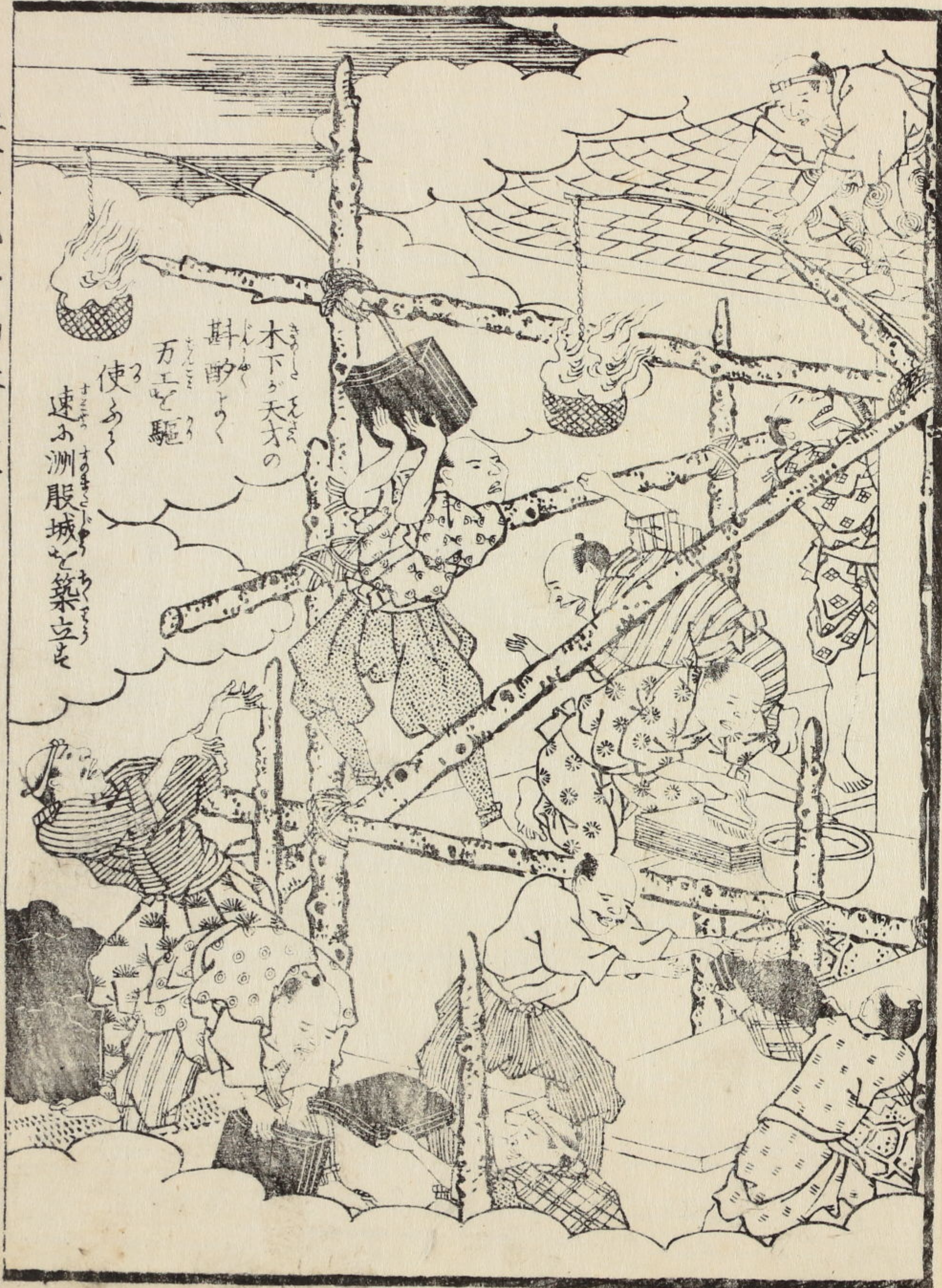


然して繪圖を採出。修理の次第を遂一小方寸分過失ありや。賊探
 壙礎積煤遠垣寨樓いとく小組分て切らませりるふより。木工石工その
 意を得日毎く小灯より商まて之曰日汗拭るも惜まれて。我勇下と勵む
 詮小領より杜迄成果まら。あま木下の下拵妙小人技の心を喜まし免
 賞法飲會の得つひく分外小こまを興ふる由あり。然るに別段小推渉。樓
 礎を安んずると徇属してまう破石小判らめ周後一丈五尺をく小源徑一丈者
 余ある。途謀と垢穿くせその土どりて築揚て垣の土根をさせり。新營
 事容易あらね。蜂沙交當小恃まれる小六千余人を借小細湫巨
 梨せらち揮ひ。勅骨憾を捲きりるその中より一千二百余人を勝敵の防
 禦小掃せり内外の分配虚疎なく。至夜を勵むやと以之日ぐうち小構一匹
 と撥果り。情曰日向の握上る。攘どりく土まを根を。花を植て去せ。後

厥より切石のりて字種之尺の積煤を築うせりるに一並夜小く後果とて。野を更
 一日の休息あり。其次の日より糧を運さる。四方の園門寨樓。地形の
 高き低き小應じて。残る隅なく。あげまて。翌天の一城成就を。と
 おのまて小願を。然れど小氣孫方小。以若西度の合戦小佐久
 間柴田と追懸く。石材木を焼付て。君臣借小勇悦びり。又鐵田勢是
 小懲果。此を築く。不説あるまじと。懐侮を。と。ころ小木下人技を。事来り。三日
 が間小植構うら。頑を。と。出成り。り。ま。バ。濃。大。小。斬。得。き。新。の。の。園。小
 うく。遠。ふ。築。出。せ。り。と。天。物。や。ある。鬼神。小。や。と。怪。し。を。怖。く。偉。漢。う。ら。を。日。根
 の。野。長。井。板。村。あ。ん。と。此。は。秋。相。と。伺。ふ。小。ん。度。小。の。似。を。大。勢。を。然。も。五。腕。小
 隊。伍。と。然。ご。も。勢。多。く。と。ま。ま。く。其。二。千。餘。小。過。ぐ。自。軍。小。は。も。ま。り
 中。分。り。行。と。切。怖。く。事。く。先。遣。う。の。敵。を。致。す。自。軍。も。五。腕。備。足。て

豊田言一 卷之三

十七



攻ん。二万余人せ五隊小成。日根野足守長井の両將牧村の五人を大将と
 して方後かよきんと者借小足固してまゝし。本下が情子ま返り。兵濃
 勢一万余人あり。進ぶと者一万余吉諸士を呼集め敵をたたく
 進ぶと指他より遠道防戦の意流る。一個の勇ありて功を連首と
 取らんと懐ふらと只願敵を追拂ひ此の成戦を功とせらまよ。細る者流
 少く能くあらひ。偶くと竊て敢起よ。頼て謀り奇をせりて。此小
 敵を趁しむ言まひ。いふも自軍の多士を都抱敵士を痛く破らしめ。翌天
 の岩全く成就せん。此成就小及びは是者々の大功あり。勢もたふひそ
 と理賢く下詞をうま。蜂湊。稻田。青山。加治田。名くを意せり。海
 進を遅くと待蒐と。取る不に。藤方。一万余強と五隊小旗。河
 原小津地くと推進日根野備中守へ蜂次賀小の隊小朝ひ。兵濃

へ稲田大助小うち。的以長井集人い。ま。影七が陣頼小池。同。此強
 日比野。方。分。陣活。常。牧村。牛。之。助。加。治。田。集。人。を。敵。人。と。せ。五。隊。一
 奇小軍。者。を。作。ま。し。本。下。が。勢。一。千。の。うち。二。百。余。人。の。あ。ま。し。を。流。連。て。五。魁
 小む。の。後。く。と。百。余。騎。の。ま。ま。に。肥。く。強。き。馬。小。う。も。強。その。間。く。小。長。敷
 長。剛。の。殺。集。せ。ら。ま。合。敵。を。間。近。く。む。れ。備。へ。常。旗。の。を。流。せ。と。百。一。層。ま。ま。の
 て。勢。も。隠。ふ。可。と。見。入。る。ま。ま。五。百。の。騎。馬。武。者。舊。地。小。強。投。從。と。ま。横。と
 ち。流。起。難。を。と。く。陣。より。後。長。刀。の。駿。系。軍。騎。馬。を。都。助。へ。流。起。一。万。余
 小。遠。く。と。呼。集。勢。大。軍。あ。ま。も。強。弱。ま。ま。と。是。時。も。ま。北。ま。の。ま。ま。と。目。合。せ。り
 日。根。野。足。守。諸。將。可。郡。長。の。自。軍。の。名。譽。僅。の。敵。小。強。く。ら。ま。進。り。逃
 る。何。事。ぞ。恥。を。お。ま。と。怒。弱。の。係。く。精神。奮。て。挿。込。を。長。井。の。村。も
 ま。小。威。を。得。く。隊。伍。を。纏。く。ひ。返。し。斬。る。勢。ま。ま。蜂。次。賀。堂。い。の

豊臣記二編卷之二

十一

合戦の勝敗も面々其身の存亡も六六軍と大軍小守り。本下が號令小
 堂も皆うろたへ一騎逐の戦もさへ隊伍の操練一致へ進るも退るも將監よりひ
 綴着る。如くも。兵濃勢烈。これと攻まると對の勢も。遂に退る。謀合の
 何時畢べふとも見え。処小堂は方角小のめれ記。敵大垣小助。鬼人軍大老。主
 へん。此れ。も。年。後。世。と。喚。ひ。て。懐。北。に。歸。る。こ。も。小。下。が。針
 暗して。蜂谷。又。大。青。山。小。助。と。小。下。不。解。人。の。名。と。授。け。多。處。山。陸。小。助。
 置。測。眼。の。軍。尖。る。こ。ろ。大。垣。城。と。攻。起。す。と。謀。合。を。身。き。り。蜂。谷。堂。と。山。と。
 後。も。地。利。小。精。に。移。る。も。六。六。の。敵。後。を。経。深。木。の。根。蔓。と。つ。ひ。ひ。れ。
 大。垣。城。の。捕。門。推。進。さ。び。く。攻。起。る。小。下。懐。借。け。ぬ。事。も。六。途。と。ま。り。測。後
 へ。廻。使。し。う。せ。く。表。小。下。日。根。野。足。身。長。井。收。村。び。と。大。垣。と。救。え。ん。測。後
 の。軍。を。退。揚。さ。し。蜂。谷。堂。移。回。も。こ。も。と。遂。と。と。務。を。あ。げ。く。勤。ら。日。根。野。長。井

收村。依。り。大。垣。と。當。て。退。返。と。ま。と。知。る。小。下。蜂。谷。堂。又。十。郎。青。山。小。助。敵。の。援
 へ。近。づ。り。ぞ。早。退。と。ま。と。指。揮。さ。し。軍。と。纏。り。間。道。より。測。後。へ。ひ。返。さ。す。日
 根。野。依。り。大。垣。小。助。さ。り。全。く。敵。一。人。も。有。あ。ら。ず。彼。も。手。解。く。事。と。致。す。
 計。策。と。る。事。の。の。尋。常。の。合。戦。と。違。う。所。は。不。得。か。し。何。と。せん。と。つ。ひ。ひ。れ。
 長。井。花。弾。も。重。さ。や。う。ひ。さ。さ。ぬ。鐵。田。勢。兩。方。を。津。吹。せ。ら。る。所。も。さ。ば。遠
 道。へ。い。か。ど。の。中。も。あ。ら。ず。然。れ。ど。も。大。河。と。流。れ。さ。す。敵。地。小。出。陣。せ。し。緣。も。さ
 へ。心。中。怖。と。懐。く。べ。し。その。こ。ろ。案。内。も。暗。く。あ。ら。ま。六。六。の。軍。小。助。依。り。惑。え。し。務
 軍。を。や。う。に。思。ひ。見。終。日。の。疲。小。使。令。者。月。の。ち。解。く。休。息。を。定。心。隊。伍。も。津。渡。を
 ら。ん。と。こ。推。進。夜。敵。し。と。暗。と。醒。さ。び。い。ろ。小。と。謂。危。將。と。ま。り。して。夜。敵。の。ろ。隊。と
 做。さ。り。る。備。秀。吉。ハ。測。後。小。下。蜂。谷。堂。の。武。略。と。賞。し。本。下。流。く。重。さ。や。う。敵
 今日。本。意。と。遂。と。退。さ。り。ぬ。ま。六。六。の。必。定。今。宵。の。夜。亦。小。下。自。軍。も。さ



峰須賀の強兵
闇夜自在
進退
夜撃小向
濃州勢を
殺倒せむ



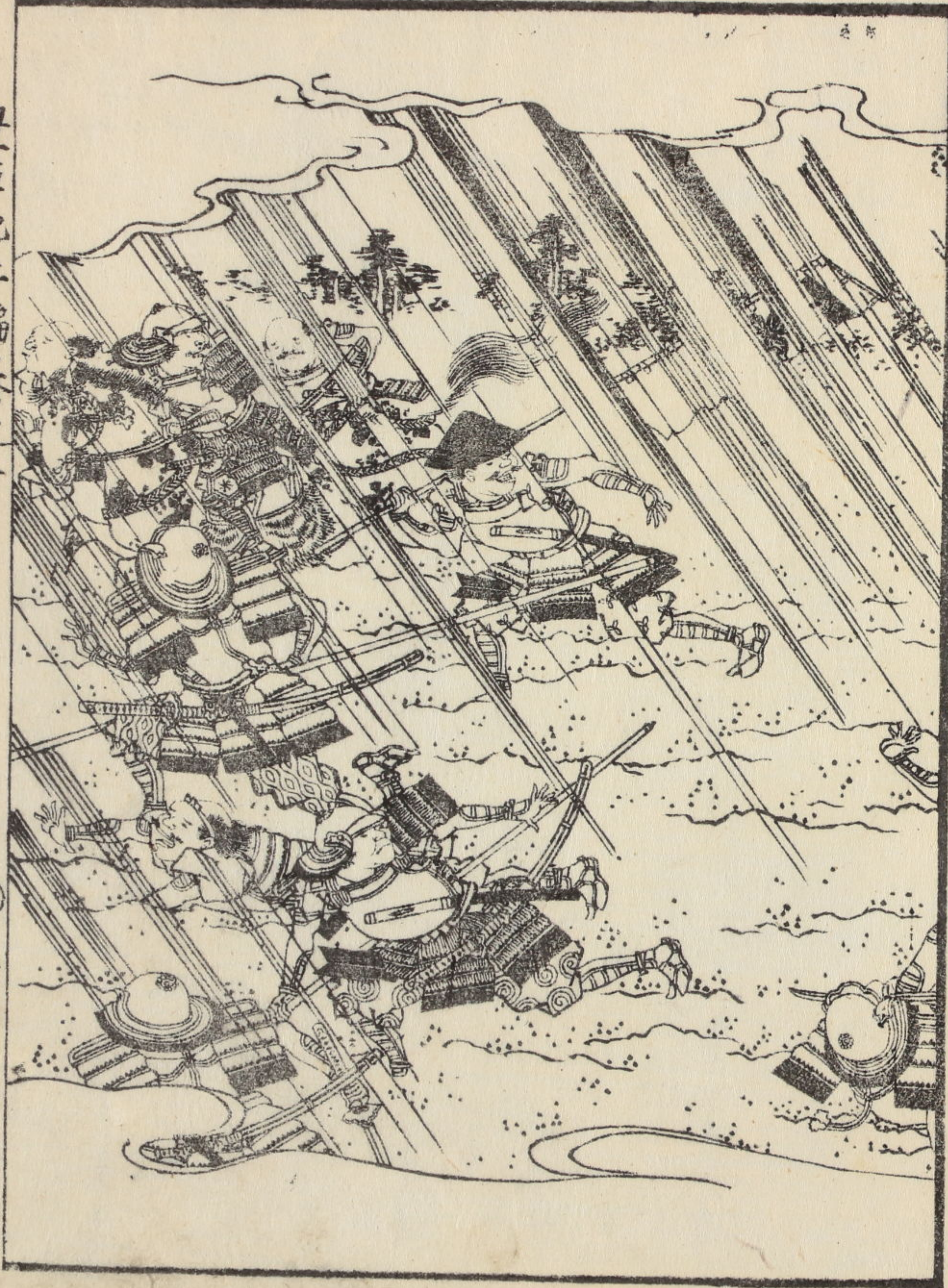
兼備せしむ。五箇所の隊伍小四の十絶。雑を残りて相守らむ。旅の
 道多。悉く埋伏せしめて後免す。伏孫方の甲初の間小を糧を食。食を
 周敷と聲子小入。頃東西動する。多士と千計。五人の大將。多と率ひ。其
 子燎松羽も照らさむ。鳴と。推進を。安。遠。敵陣。舟火。燭
 寂然。用心も。多。所見。計。敵。を。使。沖。投。と。千。小。軍。陣。と。陣。門。に。衝。て
 競。投。ま。雑。を。と。遠。隔。那。限。小。雜。居。晒。と。軍。用。小。達。と。公。堂。一。個。も。目。入。ん。ど。
 日。格。野。飲。大。小。怪。と。つ。引。の。方便。小。と。の。声。と。奇。小。雜。が。少。く。小。火。と。も。知。を。一。炮。動
 と。向。と。顔。小。一。隊。の。伏。を。段。て。出。刺。と。ま。と。と。攻。圍。む。進。を。の。面。と。ち。將。さ。借。の。後。付
 の。用心。せ。と。此。ま。の。足。強。悪。を。周。道。小。出。て。傍。有。と。あ。ん。と。引。退。ぞ。ん。と。と。る。知。小。又。も。伏
 兵。都。ら。進。を。引。く。勢。頗。て。我。と。他。と。と。退。く。も。右。と。左。の。較。後。より。周。音。と。依。て
 二。段。の。伏。を。あ。り。掃。く。湯。が。や。現。出。遠。処。被。知。小。立。寒。と。引。極。規。極。射。る。程。小。進。を

も。と。く。途。と。失。ひ。糧。糧。の。る。も。不。と。又。も。一。隊。の。伏。を。起。す。と。火。濃。武。者。一。騎。も。あ。ま
 と。あ。と。火。水。の。像。く。攻。着。ら。ま。不。知。安。内。の。尾。張。武。者。と。思。ひ。外。の。害。の。働。き
 と。ま。い。原。来。蜂。浪。賀。堂。の。火。濃。の。と。あ。ら。も。伊。勢。と。の。害。を。と。走。る。御。者。多。き。と。其。と
 傷。る。孫。孫。方。の。儀。備。も。埋。る。日。格。野。兄。牙。安。小。相。違。一。敵。を。今。有。の。舉。止。と。或
 勢。を。或。の。新。り。自。軍。と。纏。り。遠。揚。と。執。揚。と。地。利。小。別。る。蜂。浪。賀。圍。敷。の。進。退
 自。中。あ。ま。孫。孫。の。軍。を。此。處。小。敵。多。死。士。多。知。を。と。遠。く。井。口。ひ。引。退。き。ぬ
 蜂浪賀堂用括泥上敗敵属君賜感帖
 括の制を。度。其。高。王。の。編。出。と。る。器。中。と。泥。上。自。中。小。氏。と。行。也。是。又。本。高
 王。の。德。を。う。ら。む。ら。ん。や。然。日。格。野。依。西。方。を。例。假。小。推。進。ぬ。ま。も。軍。小。利。を。以。て
 あり。と。自。益。と。あ。ま。括。の。や。め。軍。う。ら。ぬ。偉。小。の。り。と。も。謀。士。行。中。半。を。湯。道。枝
 あり。と。山。林。小。周。居。と。ま。つ。西。美。濃。の。二。人。衆。と。呼。ま。る。安。孫。伊。賀。也。福。系。伊。德。守

氏家常陸の原素、秋篠家の結中もきとも。龍貞愚中と云道あり。いりも
 龍貞と信之従を唯道と附屬恩顧の諸士のこゝろ小軍意と確と是非
 別股小推進と新名と攻崩さんと評議厚ある不目根野備申也。抽てりさく
 敵小勢中と城と落し一國と討んとりて大事と抱へる事あり。吾等の自國も安
 途とて常敵と拒抗の別小軍勢とこゝろ自國も七分の強弱あり。然る各心
 一不敵と敗る。此と崩さる一足もあつて退と折書と立玉守の爲小勇氣と列生
 一骨と移し肉と翻や。命と握んと忠奮も諸利と得る。いり律を思は準備
 せしむる。勸めさる。皆同意。彰軍の勢八千人井口大垣も防衛とせし。諸士
 登軍の空揺揚今日といふ今日も。此と徹盡小ありと人推書と此城小降る。じ
 と統進と打起り。備又本中秀吉の修理の場と覽巡りて。今又一日の岩大懸成乾
 すと下。従令敵と進るとも頼て申す。強と修理と丹精とすと。意勤小申

波。又擲波へ指揮する。不問敵と進来り。今又白雨天色中と北風烈
 しく吹起ぬ。勢如く不計らる。然るも力と勞せどと敵と防ぐの便利
 あり。もと不備進来り。諸士核と準備して。若此小擲る。もと身夜とりて
 指揮しり。蜂次實業修業。初と進来り。前面枯柴焼中と多核揚
 目赤駭卒の核と御小諸を待蒐る。當目己の刻過る。以秋篠勢八千餘騎
 別股當と推進する。目と自ら。蜂次實業被此焼軍。火と敵。北風烈と
 吹まに。進ま来る途條ある。在守家。火燃移し。火烟進言小吹けり。況
 二月廿七日。暑氣を。汗の自は流し。面を向き。御の進ま。發車
 の機と大方あらぬ。長井花彈も大喜小。今更に秘と。驟雨と。今更に刻
 がやと。思ふ。源と。一時小。指揮と。稍
 林。息。人。技。遠。出。修。果

蜂須賀の撰兵
橋を踏ぐ
泥中如意に
美濃勢を
追山崩を



大雨降出。宛然至親と倒れど如く。在室小う申し。饒も婿も。一波の涼
 風おこるふも。廢の遠响ぞと。常條勢。悦鏡んでか。進る。蜂次賀小六
 出迎へ戦ふと。見入るし。一遮もせ。親と退。加治田隼人交代。哲
 時受岡も。又。備もどと。ひ死退。濃列勢。勝小。八十余人一隊
 小あり。喚叫で進。蜂次賀加治田の。美濃勢。思ふ。引を。願ひ計
 ぐる。園小。隠し。て。薙。ま。と。一。敵。せ。う。の。後。を。の。色。思。ひ。も。あ。ら。ぬ。六。千。余。人。之。方。を。う
 奮。發。し。龍。法。像。く。虎。の。お。と。く。極。威。を。揮。ふ。強。起。ま。る。美。濃。勢。う。て
 ち。備。も。し。と。退。ん。と。ま。ま。の。比。賣。の。地。形。低。く。沼。田。の。中。也。雨。降。ら。ぬ。路。滑
 走。進。退。ま。り。の。難。儀。小。く。陰。を。合。さ。る。ま。も。あ。く。蹟。償。て。踏。途。を。失。ひ。う。ろ
 め。死。ま。る。ま。の。ま。の。蜂。次。賀。堂。の。倉。都。て。橋。を。踏。む。公。軍。也。泥。途。深。澤。の
 睡。ひ。か。心。の。隨。小。強。西。或。の。柳。或。の。折。目。小。裏。登。り。款。會。一。個。も。活。さ。じ。と。改。け。る

後小員濃勢方僅ハ踏止。戦ふべきは一騎もあ。親も子も。後も前も。目見
 ぬ。と。恩。忠。意。考。の。道。を。忘。ま。自。他。競。ふ。て。退。散。し。る。六。日。根。野。長。井。根。村
 傾。意。を。多。く。い。端。も。こ。も。當。日。も。暮。小。向。ま。る。憾。念。あ。ら。ぬ。い。ち。ち。と。井。口
 城。へ。退。去。り。る。蜂。次。賀。堂。の。十。分。小。進。軍。を。計。つ。て。追。散。し。し。傷。敵。多。く。敵。提
 督。悦。鏡。を。軍。の。始。末。を。本。中。の。許。へ。送。進。ま。秀。吉。大。小。を。軍。功。を。賞。賜。し。て
 酒。者。を。贈。遣。し。殺。卒。を。勞。ひ。款。待。け。り。上。上。の。結。構。も。今。日。既。小。成。就。せ。し
 る。蜂。次。賀。堂。の。六。千。余。人。を。二。隊。小。引。分。て。二。千。人。を。城。中。小。招。き。二。千。人。の
 城。外。小。陣。を。張。せ。て。親。の。如。く。最。後。重。小。密。護。せ。給。し。て。清。洲。へ。言。出。を。織。田。殿
 へ。最。初。より。幕。を。奉。儀。する。例。後。諸。將。の。目。量。を。七。日。内。小。成。就。せ。し。と。申。上
 せ。し。親。の。賞。賜。を。く。方。御。い。う。小。と。不。審。し。當。日。遅。し。と。待。長。を。不。果。し。之。報。使
 列。來。し。且。人。技。們。も。悦。鏡。を。清。洲。へ。奏。上。を。せ。し。織。田。殿。大。小。成。就。を。以。老。臣。諸。將。も

諸とも小肝を消せし條くして不思海の本下を不引くると感せぬ事をかろくは織田
 殿別約の如く本下せりと別役の城をさるべき許容あり自筆の感懐を賜ふ文小
 令度於別殿之地欲築城之處子以計略不日令成然雖
 歎屢丸塙盡退退之斬馘數級被送越之條武功之比
 頼追而恩賞沙汰可有者也

永祿五年六月廿一日 信長判

本下省吉系との

初の如く書せしまこと上石香院空和院茶室まで更小庭下七運橋を引目
 釋ハ次小野之に止し今小下より秀吉の面目より小余として見(下)けり

繪本豊田勲功記二編卷之二終

